

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成25年3月14日 (2013.3.14)

【公表番号】特表2012-516140(P2012-516140A)

【公表日】平成24年7月19日 (2012.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-028

【出願番号】特願2011-546814(P2011-546814)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 4/00 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 K 35/74 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 4/00

C 0 7 K 7/08

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 37/04

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 35/74 A

C 1 2 N 1/15

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月25日 (2013.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 0 0 n M 未満の I C₅₀ 値を有する少なくとも 3 つの異なる H L A - D R 対立遺伝子によりコードされる M H C クラス I I 分子を結合できるオリゴペプチド配列を含む単離ポリペプチドであって、オリゴペプチド配列が A X₁ F V A A X₂ T L X₃ A X₄ A (配列番号 1) を含み、

- X₁ が Y、H、I、E、N、Q および K からなる群から選択され；
- X₂ が F、N、Y および W からなる群から選択され；
- X₃ が H であり；
- X₄ が A であり；

ここで前記オリゴペプチド配列が配列番号 3 と比較して、改善されたプロテアーゼ耐性および / または免疫原性を示す、単離ポリペプチド。

【請求項 2】

前記オリゴペプチドが配列番号 2 3、2 9、4 7、5 4、6 6、6 7、6 9 および 7 2 からなる群から選択されたオリゴペプチド中の 1 3 個のアミノ酸残基 C 末端フラグメントと同一のアミノ酸配列を有する、請求項 1 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 3】

前記ポリペプチドがオリゴペプチドに加えて未変性ポリペプチド配列の大部分を含んでいる、請求項 1 または 2 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 4】

前記未変性ポリペプチド配列がヒト T N F 由来のものである、請求項 3 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 5】

前記オリゴペプチドに加えて、少なくとも 1 つの抗原由来の複数のエピトープを含む、請求項 1 または 2 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 6】

前記複数のエピトープが、複数の C T L エピトープ、複数の B - 細胞エピトープ、複数の T ヘルパーリンパ球エピトープ、複数の C T L および B 細胞エピトープ、複数の C T L および T ヘルパーリンパ球エピトープ、複数の B 細胞および T ヘルパーリンパ球エピトープおよび複数の B 細胞、C T L および T ヘルパーリンパ球エピトープから選択されている、請求項 5 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 7】

前記エピトープが 1 つの単一抗原タンパク質に由来するものであるか、あるいは同じ種に任意に由来する少なくとも 2 つの異なる抗原タンパク質に由来するものである、請求項 5 または 6 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 8】

前記ポリペプチドが 1 0 0 個以下のアミノ酸を有する、請求項 1、2 および 5 ~ 7 のいずれか一項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 9】

前記ポリペプチドが、M H C 分子を結合できるオリゴペプチド配列と重複しない第 2 のオリゴペプチド配列を含む、請求項 1 または 3 または 5 ~ 8 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 1 0】

前記第 2 のオリゴペプチド配列が C T L 配列または B 細胞エピトープを含む、請求項 9 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 1 1】

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載のポリペプチドをコードする単離ポリヌクレオチド。

【請求項 1 2】

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載のポリペプチドをコードする単離ポリヌクレオチドに対して作動的に連結されたプロモータを含む核酸を含む単離ベクター。

【請求項 1 3】

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載のポリペプチドをコードする単離ポリヌクレオチドに対して作動的に連結されたプロモータを含む核酸を含む細胞。

【請求項 1 4】

単離細胞である、請求項 1 3 に記載の細胞。

【請求項 1 5】

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載のポリペプチドと抗原を含む組成物。

【請求項 1 6】

前記抗原が第 2 のポリペプチドまたは非タンパク性抗原である、請求項 1 5 に記載の組成物。

【請求項 17】

前記抗原が炭水化物である、請求項 16 に記載の組成物。

【請求項 18】

さらに生理学的に許容される賦形剤を含む医薬組成物の形態における、請求項 15 ~ 17 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 19】

医薬として用いられる、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のポリペプチド、請求項 11 に記載のポリヌクレオチド、請求項 12 に記載のベクター、請求項 13 または 14 に記載の細胞、あるいは請求項 15 ~ 18 のいずれ 1 項に記載の組成物。

【請求項 20】

免疫応答を刺激する方法に用いられる、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載のポリペプチド、請求項 11 に記載のポリヌクレオチド、請求項 12 に記載のベクター、請求項 13 または 14 に記載の細胞、または請求項 15 ~ 18 のいずれ 1 項に記載の組成物であって、該方法が、動物に対して有効量の前記ポリペプチドまたはポリヌクレオチド、あるいは非病原性ウイルスまたは微生物を投与するステップを含み、ここで該ウイルスまたは微生物は請求項 11 に記載のポリヌクレオチドが形質転換されている、ポリペプチド、ポリヌクレオチド、ベクター、細胞、または組成物。

【請求項 21】

前記動物がヒトである、請求項 20 に記載のポリペプチド、ポリヌクレオチド、ベクター、細胞、または組成物。